

みずほ豪ドル債券ファンド（年1回決算型）

<愛称：コアラの森>

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、オーストラリアの信用力の高い公社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年10月23日～2019年10月21日

| | | |
|-----------------------|-----------------|----------|
| 第6期 | 決算日：2019年10月21日 | |
| 第6期末 (2019年10月21日) | 基準価額 | 10,262円 |
| | 純資産総額 | 7,075百万円 |
| 第6期 | 騰落率 | 2.3% |
| | 分配金合計 | 0円 |

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

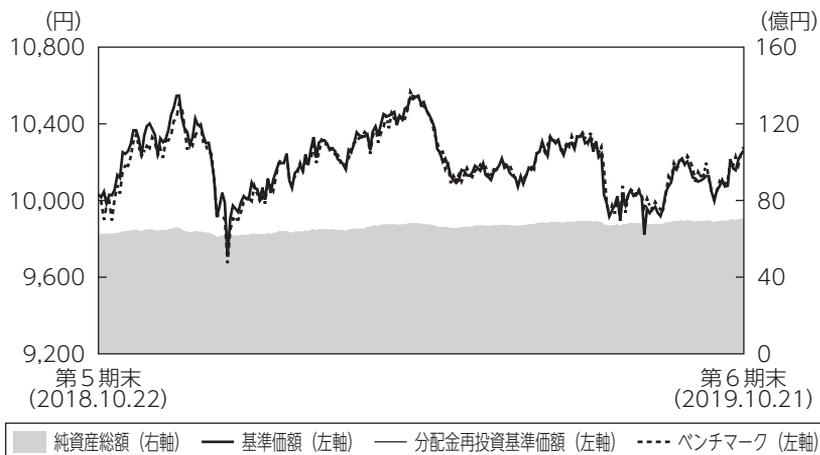
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第6期首：10,032円
 第6期末：10,262円
 (既払分配金0円)
 騰落率：2.3%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（為替ノーヘッジ・円換算ベース））は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の<当ファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

「MHAM豪ドル債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、オーストラリアの公社債に投資を行った結果、債券価格が上昇したことなどから基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

| 項目 | 第6期 | | 項目の概要 |
|-------------|-------------------------------|---------|--|
| | (2018年10月23日 ～2019年10月21日) | | |
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 138円 | 1.348% | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,201円です。 |
| (投信会社) | (72) | (0.701) | 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 |
| (販売会社) | (61) | (0.593) | 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| (受託会社) | (5) | (0.054) | 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | 0 | 0.002 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料 |
| (先物・オプション) | (0) | (0.002) | |
| (c) その他費用 | 3 | 0.034 | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (3) | (0.030) | 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 |
| (監査費用) | (0) | (0.004) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| (その他) | (0) | (0.000) | その他は、信託事務の処理に要する諸費用等 |
| 合計 | 141 | 1.384 | |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

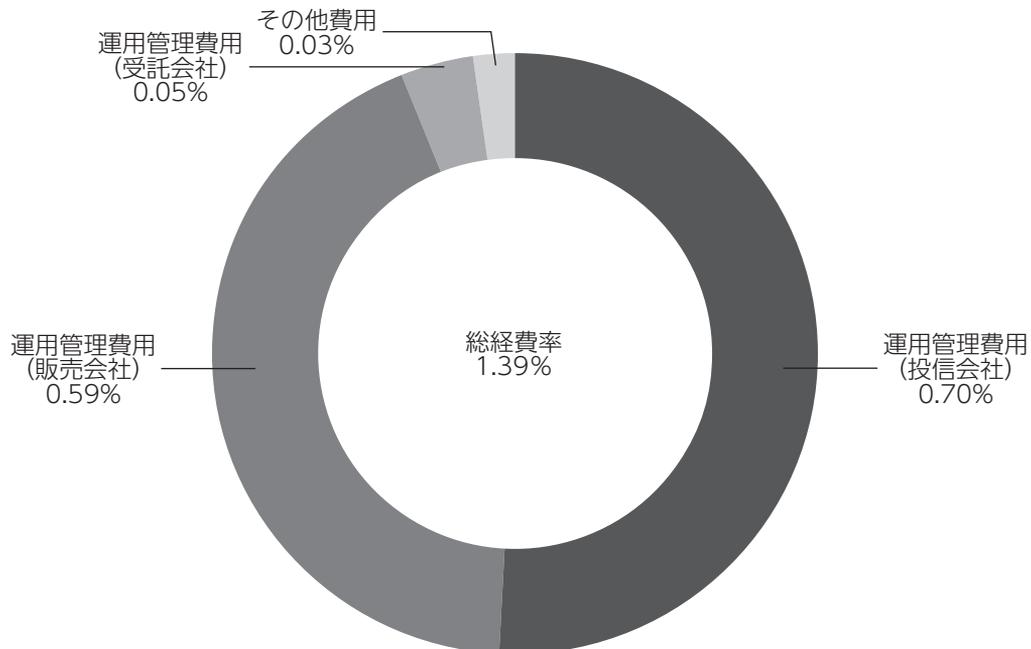
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.39%です。



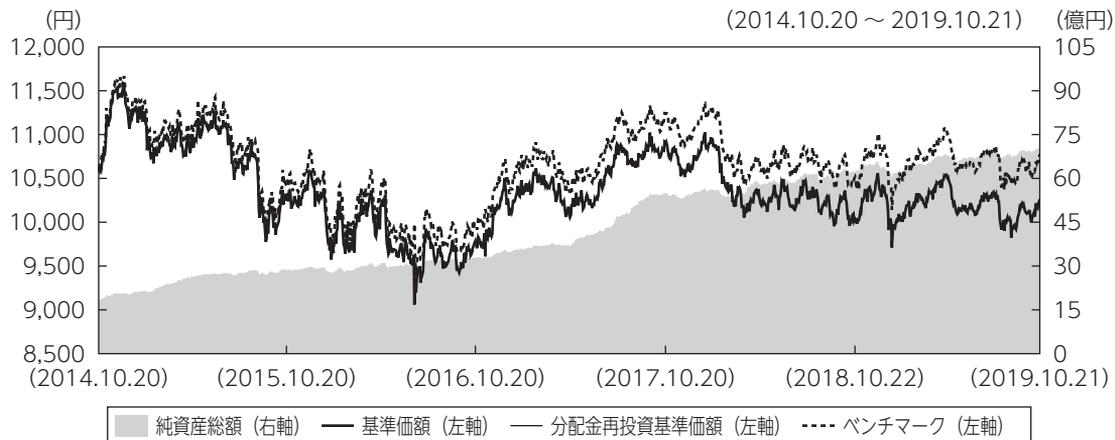
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（為替ノーヘッジ・円換算ベース））は、2014年10月20日の基準価額に合わせて指数化しています。

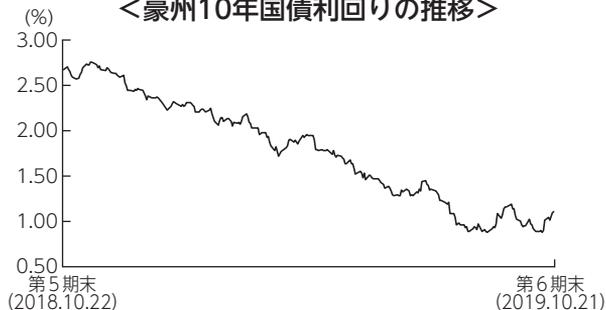
| | 2014年10月20日 期首 | 2015年10月20日 決算日 | 2016年10月20日 決算日 | 2017年10月20日 決算日 | 2018年10月22日 決算日 | 2019年10月21日 決算日 |
|----------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 基準価額（分配落） | (円) 10,611 | 10,291 | 9,787 | 10,908 | 10,032 | 10,262 |
| 期間分配金合計（税引前） | (円) — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 | (%) — | △3.0 | △4.9 | 11.5 | △8.0 | 2.3 |
| ベンチマークの騰落率 | (%) — | △1.6 | △4.5 | 12.7 | △6.5 | 2.5 |
| 純資産総額 | (百万円) 1,829 | 2,881 | 3,302 | 5,506 | 6,218 | 7,075 |

(注) ベンチマークは、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いております。

投資環境

● 豪州債券市況と為替市場

<豪州10年国債利回りの推移>

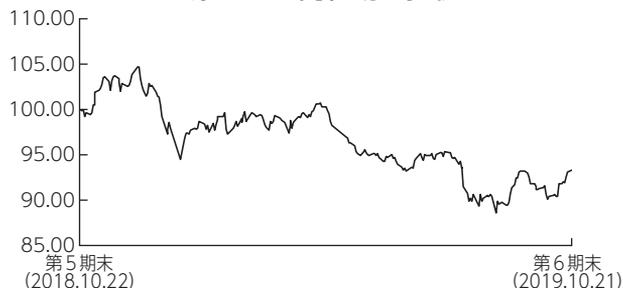


(注) 値は前営業日のものを用いております。

豪州10年国債利回りは低下（債券価格は上昇）しました。期首から2019年3月にかけては、中国の景気減速懸念や米中貿易問題に対する警戒感の高まりなどを背景に低下基調で推移しました。4月中旬以降もRBA（豪州準備銀行）による利下げが一段と意識されたことや、6月に利下げが実施され追加利下げ観測が高まったことなども低下幅の拡大に繋がりました。

社債と国債との利回り格差（信用スプレッド）は、社債市場への堅調な需要などを背景に縮小傾向となりました。

<豪ドル／円相場の推移>



(注) 期首の値を100として指数化しています。

豪ドルは対円で下落しました。期首から2018年年末にかけては、世界的な株安や米国の政府機関一部閉鎖などを背景にリスク回避姿勢が高まり下落しました。その後は、商品市場の上昇などから2019年4月中旬にかけて堅調に推移する場面もありましたが、4月中旬以降はRBAによる利下げ観測の高まりなどを背景に軟調に推移しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

「MHAM豪ドル債券マザーファンド」 受益証券の組入比率を高位に維持しました。

●MHAM豪ドル債券マザーファンド

主に豪ドル建ての国債、地方債、普通社債などに投資を行い、組入比率については高位を維持しました。種別では、値動きの荒い相場展開を想定するなか、ポートフォリオの中心としていた普通社債について、割高と判断した銘柄を売却し組入比率を引き下げた一方、流動性の高い国債や投資妙味があると判断した地方債の組入比率を引き上げました。

格付別では、AAA格の組入比率を引き上げ、A格やAA格の組入比率を引き下げました。BBB格以下の債券については、格付がBBB格に引き下げられているウールワース（小売業）の債券償還後は非保有としました。修正デュレーションについては、おおむねベンチマーク並みの水準を中心に調整しましたが、期末にかけてはベンチマーク比やや長めの水準としました。

為替ヘッジは行いませんでした。

上記の通り運用を行った結果、基準価額は上昇しました。主な変動要因は以下の通りです。

<主な上昇要因>

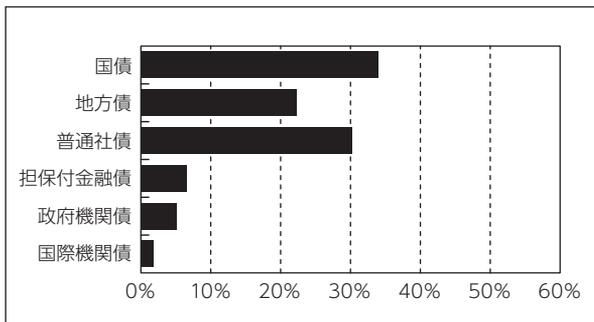
- ・債券価格が上昇したこと。
- ・債券投資による利息収入。

<主な下落要因>

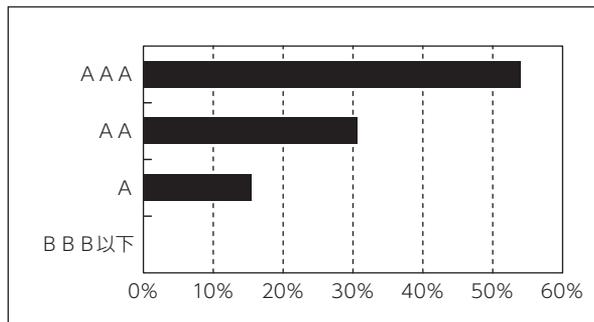
- ・豪ドルが対円で下落したこと。

期末：2019年10月21日

<種別保有比率>



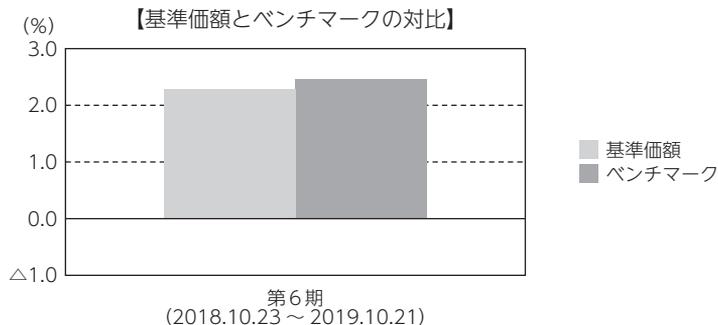
<格付別保有比率>



(注) 保有比率についてはMHAM豪ドル債券マザーファンドの債券部分を100%換算したものをを用いております。格付けはS & P、Moody'sのうち、高い方の格付けを採用しています。(表記方法はS & Pに準拠)

ベンチマークとの差異について

「MHAM豪ドル債券マザーファンド」受益証券への投資を通じてオーストラリアの公社債に投資した結果、基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は、ベンチマークを下回りました。利回り水準が相対的に高い社債をベンチマークに対して高めに組み入れたことなどがプラスに寄与しましたが、信託報酬などのマイナス要因を上回ることが出来ませんでした。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金は、基準価額の水準や市況動向等を勘案した結果、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項目 | 当期 |
|------------|-----------------------------|
| | 2018年10月23日 ～2019年10月21日 |
| 当期分配金（税引前） | －円 |
| 対基準価額比率 | －% |
| 当期の収益 | －円 |
| 当期の収益以外 | －円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 1,793円 |

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

「MHAM豪ドル債券マザーファンド」 受益証券の組入れを高位に維持します。

●MHAM豪ドル債券マザーファンド

豪州の10年国債利回りは、米中貿易協議の行方や同国の金融政策の動向、主要貿易相手国である中国の景気減速懸念などから、短期的には値動きの荒い相場展開になる可能性もあります。しかし中長期的には、金融緩和や財政政策による効果などが経済成長の下支えになると見込まれることから、豪州の10年国債利回りは緩やかに上昇すると予想します。

主として、オーストラリアの信用力の高い公社債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指します。公社債の組入比率は、高位を保つことを基本とします。

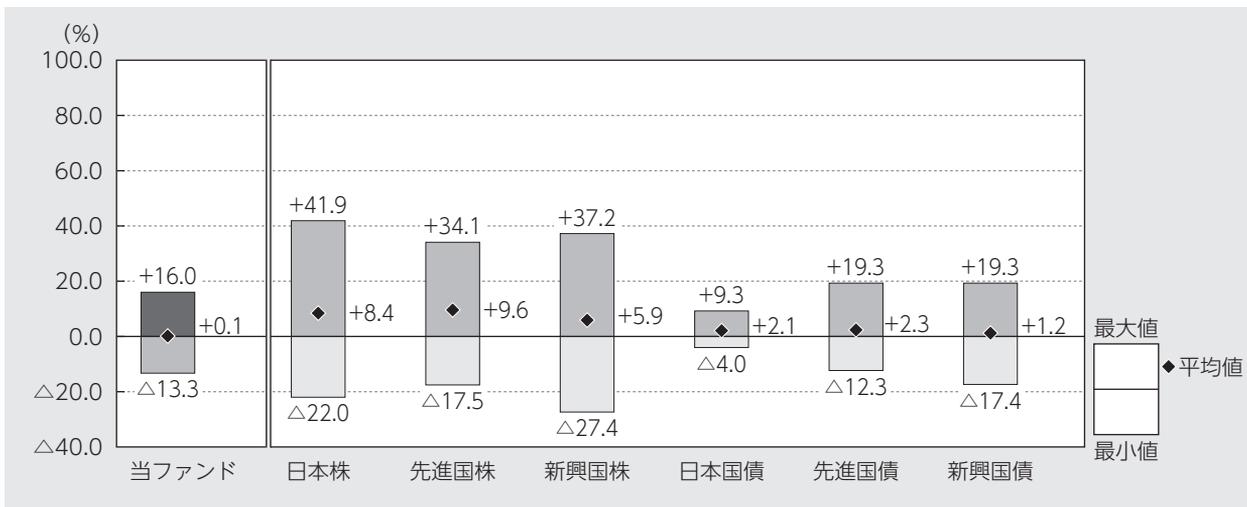
債券の種別配分については、利回り水準が魅力的な普通社債をベンチマークに対して高めに組み入れるポートフォリオを維持し、割安な銘柄を発掘していく方針です。修正デュレーションは、足元はベンチマーク比やや長めの水準としていますが、グローバルな経済状況を確認の上、機動的に調整していく方針です。

当ファンドの概要

| | | |
|--------|---|----------------------------------|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 | |
| 信託期間 | 2013年10月21日から2028年10月20日まで | |
| 運用方針 | 主として、オーストラリアの信用力の高い公社債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中・長期的な成長を目指します。 | |
| 主要投資対象 | みずほ豪ドル債券 ファンド (年1回決算型) | MHAM豪ドル債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 |
| | MHAM豪ドル債券 マザーファンド | オーストラリアの信用力の高い公社債を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | <p>公社債の組入比率は高位を保つことを基本とし、主に豪ドル建ての国債、州政府債、事業債などに投資します。投資対象は、取得時においてA－（A3）格相当以上の格付けを得ている公社債とするとともに、ファンド全体の加重平均格付けをAA－（Aa3）格相当以上とすることを基本とします。</p> <p>ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（為替ノーヘッジ・円換算ベース）をベンチマークとして、中・長期的にベンチマークを上回る運用成果を目指します。</p> <p>外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>MHAM豪ドル債券マザーファンドにおける円の余資運用以外の運用の指図に関する権限を、AMPキャピタル・インベスターズ・リミテッドに委託します。</p> | |
| 分配方針 | <p>毎決算時（原則として毎年10月20日。ただし、休業日の場合は翌営業日）に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は委託会社が基準価額の水準や市況動向等を勘案して決定します。収益分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p> | |

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用しています。（ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてペビエーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資することにより、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。）

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年10月～2019年9月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2019年10月21日現在）

◆組入ファンド等

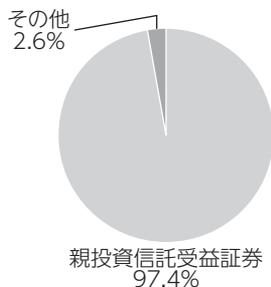
（組入ファンド数：1ファンド）

| | 当期末 |
|------------------|-------------|
| | 2019年10月21日 |
| MHAM豪ドル債券マザーファンド | 97.4% |
| その他 | 2.6 |

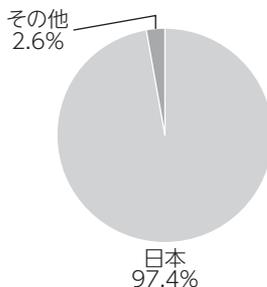
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

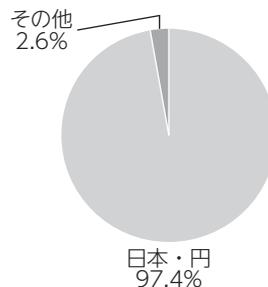
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

（注3）国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

純資産等

| 項目 | 当期末 |
|------------|----------------|
| | 2019年10月21日 |
| 純資産総額 | 7,075,271,868円 |
| 受益権総口数 | 6,894,692,231口 |
| 1万口当たり基準価額 | 10,262円 |

（注）当期中における追加設定元本額は1,461,020,492円、同解約元本額は765,198,723円です。

組入ファンドの概要

【MHAM豪ドル債券マザーファンド】（計算期間 2018年1月23日～2019年1月21日）

◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

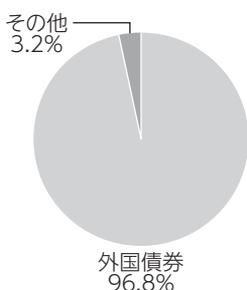
| 項目 | (2018年1月23日～2019年1月21日) | |
|------------------------------|-------------------------|-----------------------------|
| | 金額(円) | 比率(%) |
| 平均基準価額 | 27,874 | — |
| (a) 売買委託手数料 (先物・オプション) | 0 (0) | 0.001 (0.001) |
| (b) その他費用 (保管費用) (その他) | 9 (9) (0) | 0.031 (0.031) (0.000) |
| 合計 | 9 | 0.032 |

◆組入上位銘柄

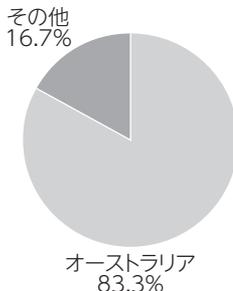
(組入銘柄数：114銘柄)

| 順位 | 銘柄 | 種別 | 通貨 | 利率 | 償還日 | 比率 |
|----|---|------|-----------|-------|------------|-------|
| 1 | AUSTRALIA | 国債 | オーストラリアドル | 4.50% | 2033/04/21 | 14.9% |
| 2 | QUEENSLAND TREASURY CORP | 地方債 | オーストラリアドル | 5.75% | 2024/07/22 | 2.8% |
| 3 | MACQUARIE UNIVERSITY | 普通社債 | オーストラリアドル | 6.75% | 2020/09/09 | 2.4% |
| 4 | QUEENSLAND TREASURY CORP | 地方債 | オーストラリアドル | 4.75% | 2025/07/21 | 2.2% |
| 5 | AUSTRALIA & NEW ZEALAND BANKING GROUP LTD | 普通社債 | オーストラリアドル | 3.25% | 2021/04/07 | 1.9% |
| 6 | NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD | 普通社債 | オーストラリアドル | 3.00% | 2021/05/12 | 1.9% |
| 7 | AUSTRALIA & NEW ZEALAND BANKING GROUP LTD | 普通社債 | オーストラリアドル | 5.00% | 2023/08/16 | 1.7% |
| 8 | WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP | 地方債 | オーストラリアドル | 3.00% | 2026/10/21 | 1.7% |
| 9 | NEW SOUTH WALES TREASURY CORP | 地方債 | オーストラリアドル | 5.00% | 2024/08/20 | 1.6% |
| 10 | WESFARMERS LTD | 普通社債 | オーストラリアドル | 6.25% | 2019/03/28 | 1.6% |

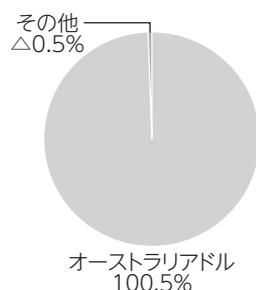
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は当マザーファンドの直近の計算期間末のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は当マザーファンドの直近の決算期のものです。費用の項目の概要については運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計(除く現金)に対する割合です。

(注4) その他は100%と配分比率の合計との差になります。そのため、その他を除く配分比率の合計が100%を超過する場合にはマイナス表示になります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

<当ファンドのベンチマークについて>

●ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（為替ノーヘッジ・円換算ベース）

「ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス [正式名称：Bloomberg AusBond Composite Index]」とは、オーストラリアで最も一般的な債券指数の1つで、国債・州政府債・事業債等を含む、固定利付債券を対象とした指数です。なお、当ファンドがベンチマークとする「為替ノーヘッジ・円換算ベース」とは、委託会社が同インデックスを円ベースに換算したものです。

※ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）は、アセットマネジメントOne(株)の関係会社ではなく、当ファンドを承認し、是認し、レビューしまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックスは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標またはサービスマークであり、アセットマネジメントOne(株)に対してライセンスされています。ブルームバーグは、ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックスに関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（(株)東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

